

第 22 号
古河市第13地区
発 行
令和6年10月31日
とねの絆
広報委員会



地区長 鎌仲 英俊

の発令等がありました。天災・水害が毎年どこかで起きている日本です。古河市でも地震の不安以上に、利根川等の水害が懸念されております。地球温暖化が進み、猛暑日やゲリラ豪雨・台風の大規模化も増えています。水害被害のリスクも確実に増加しています。災害があつたときにも助け合えるよう日頃より会話・意識づけ・活動が大事になります。まず各町内会・行政区内で、①明るく挨拶、声かけのできる、②子どもから高齢者まで顔見知りが多い、③そして助

◎ 委員長 ○ 副委員長

行 政 区	広報委員会	交通委員会	防災委員会
砂 井 新 田	枝 和夫	佐藤 勝	鎌仲 英俊
上 砂 井	高塚 雅之	高塚 誠	飯田 直人
内 水 海	梁河 紀栄 金沢 信義	市村 昭夫	山中 郷司
町 水 海	石田 信生 ◎ 能城 忠雄	羽部 敏行	小池 知良
前 林	山室 光男	堀江 良則	◎ 知久 貴 染谷 隆
高 野	○ 塩田 清七 羽部 寿	船橋 裕	吉沼 明夫
北 新 町	水町 利郎	◎ 稲葉 信也	増田 玲子
学 校	大歳 英治 船橋 範彦	教頭 PTA会長	

け合いのできる間柄を普段から作っておくことを心掛け、「遠くの親戚より近くの行政区」そんなご近所付き合い、助け合いができるように、また、子ども達から若い世代の行事への参加が増えたら嬉しいです。花火など市のイベント、そして夏祭りなど行政区の行事も再開されています。行事にも家族で積極的に参加いただき、町内会・行政区内での顔見知りを増やし、「挨拶する・声かけの輪」を是非広げ、「顔の見える行政区」として地域内でのつながりを深めて頂きたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

水海小学校教頭 大歳 英治
今年度、古河第三小学校から
水海小学校に転任してまいりま
した。

水海小学校は、周りを緑豊かな自然に囲まれ、また工業団地も隣接したとてもすばらしい地域です。この水海の恵まれた教育環境を生かし、本校教育目標「心身ともに健康でたくましく主体的に学ぶ心豊かな児童」を育成するために、一人一人を大切にした「信頼される学校」づくりを目指します。

また、地域の皆様と接する度に、その心の温かさ、豊かさを感じていきます。

これから、子供たちの健やかな成長のために地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。学校・家庭・地域が協力して「地域とともにある学校」になるよう努力してまいります。お世話になります。どうぞよろしく願います。

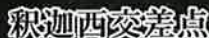
防災委員長 知久 貴

が起き、多数の犠牲者を出し、街や家屋に甚大な被害が出ました。いつ起こるかわからない自然災害には危機意識を持ち日々の備えをする事が大切だと思います。本地区の防災委員会では、防災意識の向上と具体策を示し、災害が発生した時には、一人でも多くの命を守る啓発活動を行う事を考え準備します。

今年度は主に台風と線状降水帯発生により「水害」の発生を想定した勉強会を行います。利根川、渡良瀬川、思川が増水決壊、又はその恐れがある時には避難以外に手段はありません。いつ避難するか、何を持ち出すのか。何処へ行くか、車で行けるのか、日頃の生活の中で考えることが重要です。

委員会では災害に対する啓発活動をしていきますので皆様の協力をお願いいたします。

交通安全委員長 稲葉 信也
交通安全期間中、交通安全委員そして地域の皆様、付近を走行されるドライバーの皆様の交通安全に対する意識向上の一助となりますよう、立哨活動を行っております。今回の立哨活動では一旦停止でタイヤが完全に止まっていないことが数台見受けられました。今一度自分自身の運転を見直し、ルールを守る、マナーのよい運転に努めるなど、意識していこうと思ひました。



○ 12月1日 12月15日	○ 9月21日 9月30日	○ 7月15日 7月24日	○ 4月8日 4月15日
年末の交通安全運動	秋の交通安全運動	夏の交通安全運動	春の交通安全運動

水海小スポーツ フェスティバル

感動のスポーツフェスティバル

保体委員長 山中さゆり
今年は気温30度を超える暑さの中、先生、役員の方々と前日準備に奔走しました。

当日も天気に恵まれ、徒競走や団体競技に生徒や観客席からも大きな声援が送られました。

コロナも明け、一、二年生玉入れでは久しぶりに親子での参加となり、また、PTA協議学年対抗綱引きも実施され、会場全体で大いに盛り上がりました。

スポーツフェスティバルを通して、私たち保護者は子供達の成長を感じ、毎年感動を覚えます。これも先生方の日頃からの指導のおかげと感謝しております。来年もさらに楽しく充実したものになるよう期待しています。

令和6年度 行政区・自治会親善球技大会

親善ソフトボール大会参加

町水海行政区 中島 寛之
6月2日、渡瀬河川敷で行われた行政区・自治会親善ソフトボール大会エンジニア部門に参加しました。今年初めて監督になり、町水海チームを率いての大会です。参加を呼びかけると二つ返事で了解してくれ、心知れた仲間とともに試合に臨みました。初戦は旭町自治会に10対4と負け越し、二回戦の女沼行政区との対戦は天候不順のためドローとなりました。

走って打球に向かっているチームメイトの姿や駆けつけてくれた地域の皆さんの応援に町水海行政区の一体感を感じました。来年は勝利するぞ！



中島監督



元気よく開会宣言

水海小学校スポーツ フェスティバルの思い出

今日は、楽しみにしていたスポーツフェスティバルがありました。特に、徒競走を楽しみにしていた僕は、緊張のあまり足が動かなくなりました。そのとき

一年一組 落合 煌



町水海チーム

前林ソフトボール部

前林行政区 山室 光男
第15回古河市行政区・自治会親善ソフトボール大会が6月2日に行われました。前林行政区はチャレンジ男子部門に参加しました。会場となった上大野グランドではBブロック。上大野、前林、下大野、久能せせらぎ、第一試合は、上大野対前林、むなしく勝利することができました。第四試合は前林対久



前林チーム

能せせらぎ戦でしたが残念ながら雨のため中止となりました。当日朝早くから準備なされた行政区役員、スポーツ推進員、選手の方々の協力にて終えることができました。練習や試合を通じて親睦を深めることができました。

友達が、「緊張しなくて大丈夫だよ。」と声をかけてくれたおかげで一位を取ることができました。綱引きでもみんなで引きまわって、結果、赤組に勝つことができました。予行練習では、赤組大玉転がして負けていたけれど、本番では、白組にみんな赤組に勝つてとても嬉しかったです。最後はみんな声をかけて頑張ったのも一生の宝物です。最後の炭酸水かけも楽しかったです。最後の水海小スポーツフェスティバルは、けっして忘れません。

スポーツフェスティバルの思い出

一年一組 はりがい ゆうと
ぼくのおもいでは、かけっこです。どうしてかという、がんばってれんしゅうをして一ぱんになれたからです。

「祭りだ！ワッショイ」

前林子供神輿各町内を練り歩く

地区コミュニティ副会長

飯田 明

前林香取神社境内に建立の八坂神社「夏祭り」が7月7日(日)宮出、14日(日)宮入にて、子供神輿が各町内を練り歩きました。

お神輿とは、お祭りの時に神様：八坂神社では、御祭神スサノオノミコト：が地域内を回る為の乗り物であり、災厄や穢れを吸収して清めたり、人々の豊作祈願のために行われるこのことです。



台風の日



大玉運び

「夏休みこども 学習教室」

地域学校協働活動ボランティア

安田 福子

夏休み期間中の3日間、学校の教室をお借りし、自主学習に取り組みました。総参加者数は児童45名、ボランティア(地域住民、保護者、中学生)にご参加・ご協力頂きました。子供達は各々で目標を立て自分のペースで課題を進めました。ボランティアは見守りが主で、子供達に寄り添った声かけをし、中学生も母校の後輩のため色々と協力してくれました。



お神輿

地域の子供神輿は、従前のものを更新するために平成11年度、市を経由して『一般財団法人自治総合センター』が窓口となるコミュニティ助成事業を申請、翌年度250万円の助成金が交付され、上坪(第一、二町内)中坪(第三、四町内)下坪(第五、六町内)単位に各一基ずつ三基の神輿を購入し、現在に至っています。コロナ禍の数年は中断しましたが、令和5年度から夏の風物詩「子供神輿」が復活、胸躍る伝統行事が未永く受け継がれるよう切に願います。

途中休憩では演奏付きの読み聞かせや、簡単なゲームをみんなが楽しめました。水海小未来プロジェクトでは、地域全体で無理なく続けられるボランティア活動を立案している段階ですが、新しい時代を生きていく子供達にとって、自分達の住む身近な地域との繋がりが大切だと思います。子育てを応援し、お手伝い頂けるメンバーは随時募集中です。是非ボランティア登録をお願いします。



学習教室



編集後記

今年の夏は記録的な暑さが続きました。住民の皆さんも大変であったと思います。このようなかで自治会の活動に積極的に取り組む皆さんの頭が下がります。そんな皆さんの様子を記録にとどめるべく「とねの絆」が発刊されているのだと思います。記事を書いていただいた方々を始め発行に協力して頂いた方々に、この場をお借りして、お礼申し上げます。13地区コミュニティ広報委員長 町水海行政区 能城 忠雄